

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2021年1月26日(火)19:30～

会場：ZOOM ミーティング

- 一般講演抄録 1 -

コピーデンチャーを利用して上下顎全部床義歯を製作し口腔機能向上を図った1症例

匠原健 しょうはら歯科口腔機能クリニック 熊本市中央区帯山3丁目7-33

■抄録

超高齢社会の我が国では、歯科外来を受診する高齢者の割合は年々増加の一途を辿っている。一方で訪問歯科診療では、患者の状態により様々な診療の制限を受けることがあり、いかに短い口腔内操作で精度の高い診療を行えるかが求められる。

今回、要支援認定患者にコピーデンチャーを利用して上下顎全部床義歯を製作し口腔機能向上を図った。患者は90歳の女性。10年以上前に製作した上下顎全部床義歯が外れやすく噛めないことを主訴に義歯製作を希望し当院訪問歯科診療依頼となった。脊柱管狭窄症による歩行困難で要支援2認定を受けサービス付き高齢者向け住宅に入居していた。旧義歯は人工歯咬耗は認められるが、大きな咬合高径の変更は不要と診断したため、現在使用中の義歯を参考にすることとした。現義歯を口腔内スキャナーを使用して、3Dプリンターで即日製作したコピーデンチャーを利用して上下顎全部床義歯を作成した。義歯完成から3か月後に、下顎全部床義歯の軟性裏装を行なった。咬合圧が大きく上昇し、患者の摂取可能食品も増加し、患者の口腔機能とQOL向上に寄与した症例を提示する。諸先生方のご指導を仰ぎたい。